



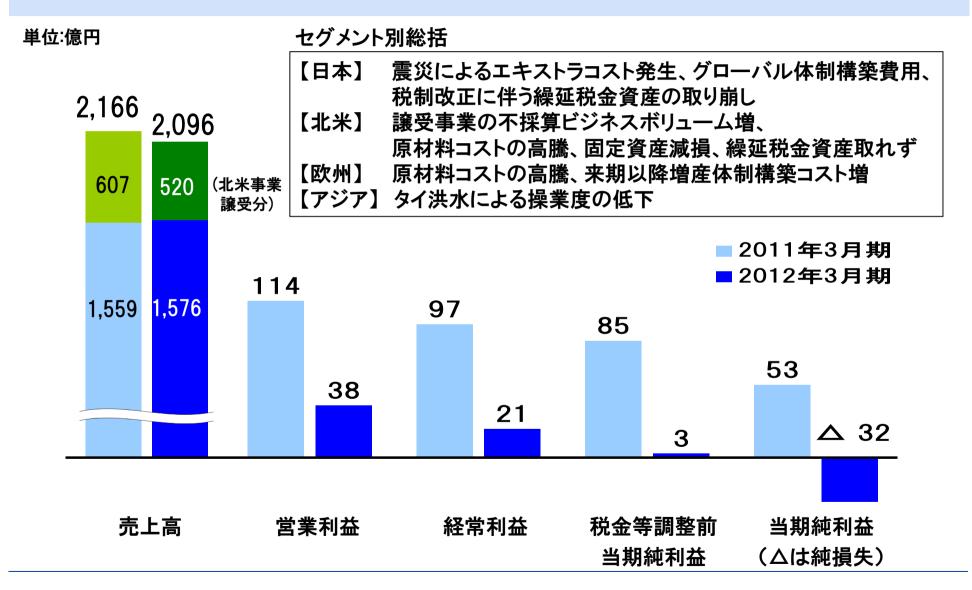
2012年3月期 決算説明資料

2012年5月9日 曙ブレーキ工業株式会社



2012年3月期 業績説明

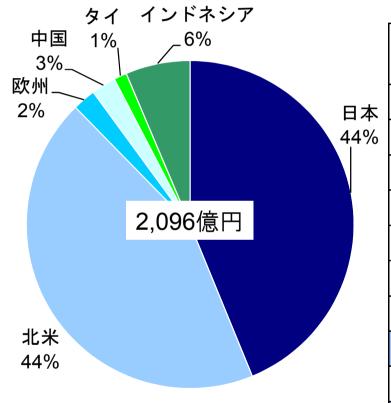
2012年3月期:連結業績(対前年同期)



2012年3月期:売上高 [地域別]

<2012年3月期実績>

単位:億円



	11年 3月期	12年 3月期	差	為替 換算影響
日本	931	962	+30	_
北米	1,070	963	△107	△93
欧州	44	50	+5	Δ1
中国	51	53	+2	Δ2
タイ	33	28	△4	Δ2
インドネシア	142	140	Δ2	Δ8
アジア計	226	221	Δ5	Δ12
小計	2,272	2,195	△77	△106
連結消去	Δ106	△99	+7	_
合計	2,166	2,096	△70	△106

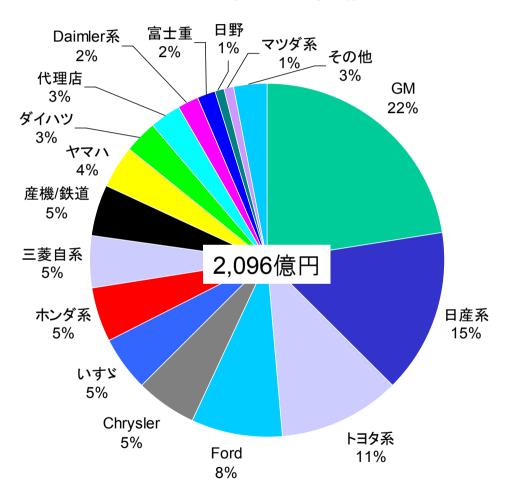
2012年3月期:地域別の状況

畄	付:	偣	Щ
ᆍ	ш.	1.773	

立:億円		+		¥ ++		226 Alle 7 .1 26		34 ++
		売上高		為替		営業利益		為替
	11/3月期	12/3月期	差	換算影響	11/3月期	12/3月期	差	換算影響
日本	931	962	30		71	59	△ 12	
北米	1,070	963	△ 107	△ 93	4	△ 54	△ 58	5
欧州	44	50	5	Δ1	0	△ 4	4	0
中国	51	53	2	Δ2	8	8	0	Δ0
タイ	33	28	4	△ 2	4	2	Δ2	Δ0
インドネシア	142	140	Δ2	Δ8	25	25	Δ0	Δ1
アジア	226	221	Δ 5	△ 12	37	35	Δ2	Δ 2
連結消去	△ 106	△ 99	7		2	2	0	
合計	2,166	2,096	Δ 70	Δ 106	114	38	Δ 76	3
	<u>11/3月期</u> 1,226	<u>12/3月期</u>	<u>差</u>	<u>増減率</u> 1 v	<u>11/3月期</u> 5	<u>12/3月期</u> △ 67	<u>差</u>	<u>増減率</u>
北米: \$ mil.	•	1,209	Δ 17	-1%			△ 72	-
欧州: EUR mil. 中国: CNY mil.	39 396	45 427	+ 6 + 31	15% 8%	0 64	△ 4 65	△ 4 + 1	- 2%
タイ: THB mil.	1,185	1,095	△ 90	-8%	151	78	△ 73	-48%
インドネシア: IDR bil.	1,464	1,520	+ 56	4%	258	268	+ 10	4%
<為替レート>	<u>11/3月期</u>	12/3月期	変化率		<u>11/3月期</u>	12/3月期	<u>変化率</u>	
USD	87.3	79.6	-9%	CNY	12.9	12.4	-4%	
EUR	112.6	109.6	-3%	THB	2.8	2.6	-7%	
				IDR	0.0097	0.0092	-5%	

2012年3月期:売上高 [お客様別]

<2012年3月期実績>



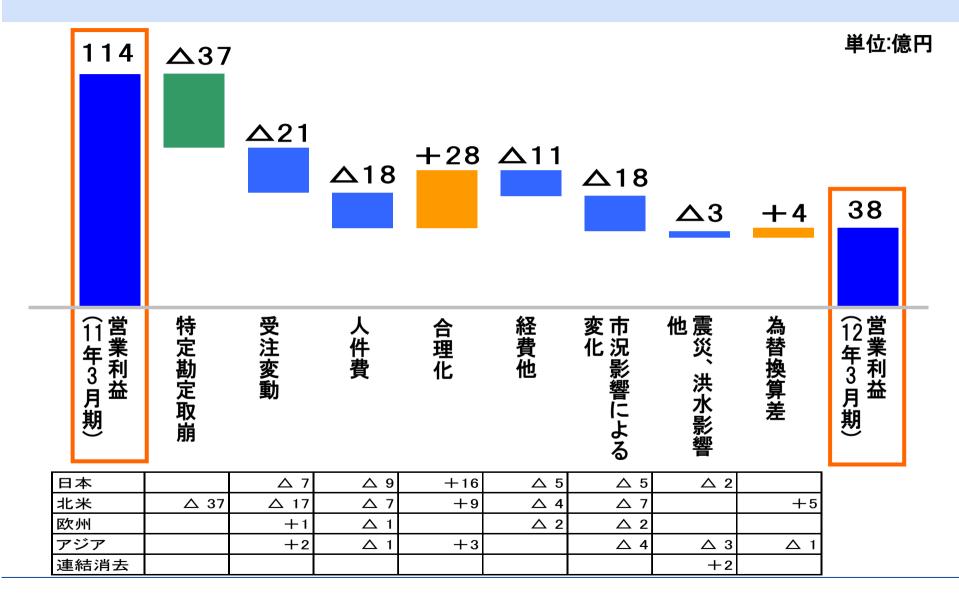
	11年3月期	12年3月期
GM	24%	22%
日産系	13%	15%
トヨタ系	12%	11%
Ford	10%	8%
Chrysler	4%	5%
いすゞ	5%	5%
ホンダ系	5%	5%
三菱自系	5%	5%
産機/鉄道	4%	5%
ヤマハ	4%	4%
その他	14%	15%
合計	100%	100%



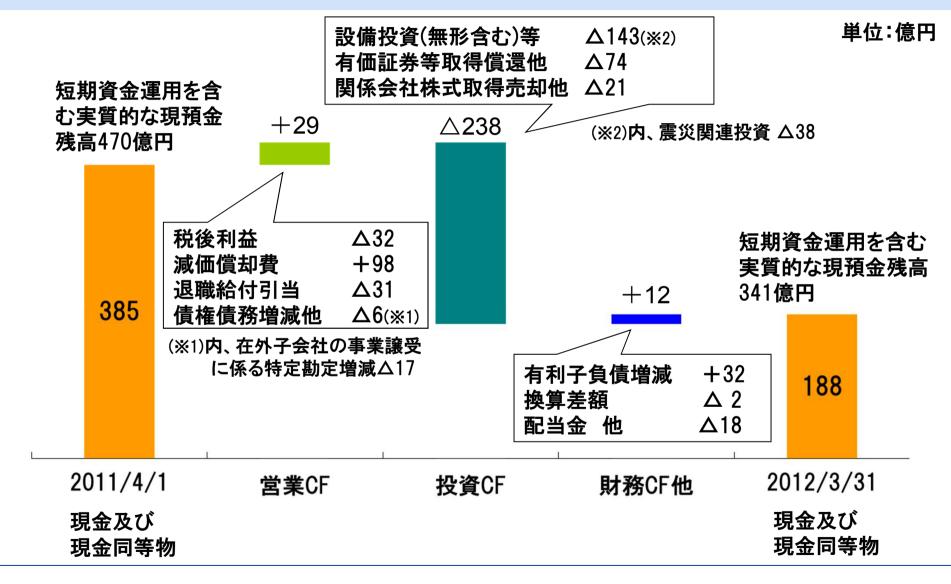
2012年3月期:営業利益から純利益まで

<u>前年同期</u>	<u>主な</u>	<u>勘定</u>	<u>当期</u>		<u>主な勘</u>	単位:億円 <u>定</u>
営業利益	114		営業利益		38	
営業外収支△17	支払利息 為替差損	△ 12 △ 3	営業外収支	∑△17 支	払利息	Δ 13
経常利益	97		経常利益		21	
特別損益 △12	持分変動利益 固定資産除売却 災害による損失	=	特別損益	/\ \	定資産減損損 よび売廃却損	失 △ 19
税前利益	85		税前利益		3	
	法人税等 少数株主利益	△ 16 △ 16			人税等 数株主利益	△ 23 △ 12
当期純利益	53		当期純損	失	△32	

2012年3月期:営業利益増減分析(対前年差)



2012年3月期:キャッシュ・フロー





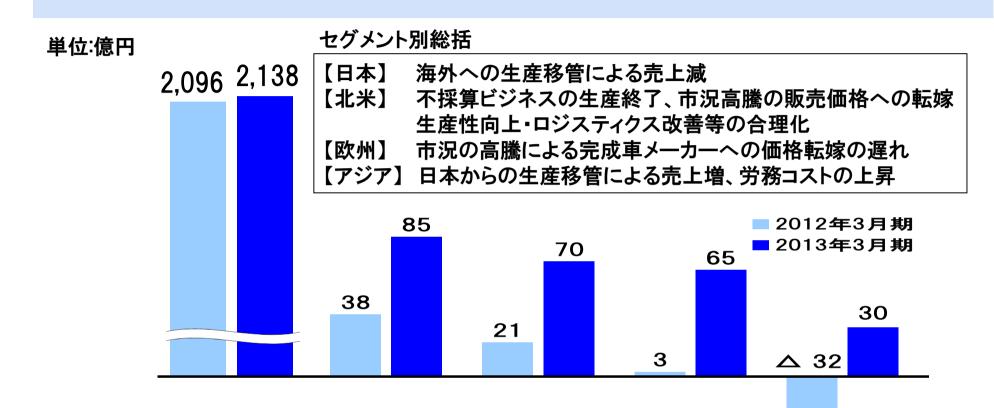
2013年3月期 業績予想説明

2012年自動車市場見通し

台数(百万台)	2011	2012	%	備考
日本	9.3	9.7	+4.3	(生産台数)震災による落ち込みの反動
米 国	12.8	13.9	+8.6	(販売台数)買替需要増加、原油価格上昇が懸 念材料
欧 州	19.5	18.6	-4.7	(生産台数)景気後退の影響
中国	18.5	19.4	+4.6	(販売台数)伸びが鈍化、後半に回復か
インドネシア	8.2	8.6	+4.9	(2輪販売台数)内需拡大で市場伸長
	8.0	0.9	+15.4	(4輪販売台数)
タイ	1.5	2.0	+37.9	(生産台数)昨年の洪水から復興

日本のみ年度ベース(他は暦年ベース)

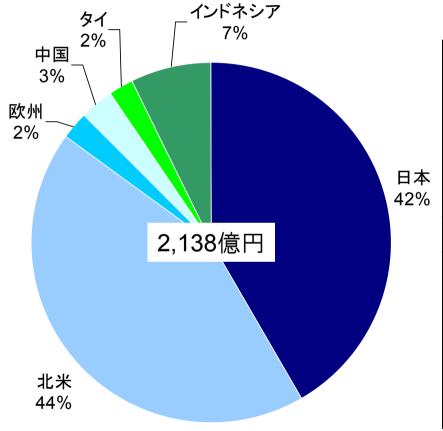
2013年3月期見込み:連結業績(対前年同期)



	売上高	営業利益	経常利益	税金等調整前 当期純利益	当期純利益 (Δは純損失)
前年差	+42	+47	+49	+62	+62
前年比	+2%	+124%	+233%	20.7倍	_

2013年3月期見込み:売上高 [地域別]

<2013年3月期見込み>



単位:億円

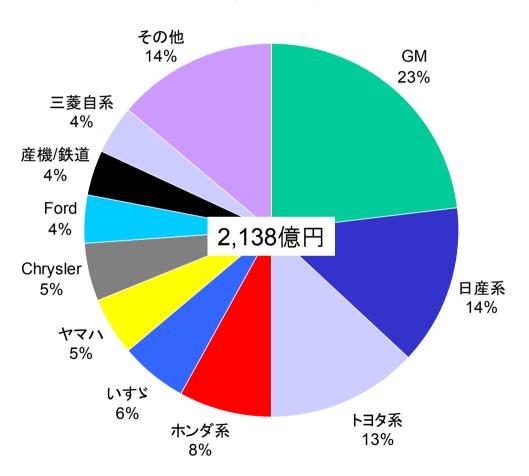
	12年3月期	13年3月期	差
日本	962	922	△40
北米	963	995	+32
欧州	50	52	+2
中国	53	72	+19
タイ	28	49	+21
インドネシア	140	158	+18
アジア計	221	279	+59
小計	2,195	2,248	+53
連結消去	△99	Δ110	Δ11
合計	2,096	2,138	+42

2013年3月期見込み:地域別の状況

単位:億円		売上高		為替		営業利益		為替
	12/3月期	13/3月期	差	換算影響	12/3月期	13/3月期	差	換算影響
日本	962	922	Δ 40		59	50	Δ9	-
北米	963	995	32	5	△ 54	0	54	0
欧州	50	52	2	Δ2	△ 4	△ 5	Δ1	0
中国	53	72	19	1	8	10	2	0
タイ	28	49	21	0	2	2	Δ0	0
<u>インドネシア</u>	140	158	18	<u> </u>	25	26	1	Δ1
アジア	221	279	58	△ 3	35	38	3	△ 0
連結消去	△ 99	△ 110	Δ 11		2	2	Δ0	
Total	2,096	2,138	42	\triangle 0	38	85	47	\triangle 0
ノ田山宮化 が、ラン	10/0 🗆 🖶	10/0 🗆 🖶	*	描述录	10/2 0#	10/0 🗆 🖶	*	1# 1# 5#
<現地通貨ベース>		13/3月期	<u>差</u>	<u>増減率</u>	12/3月期	13/3月期	<u>差</u>	<u>増減率</u>
北米: \$ mil.	1,209	1,244	+ 35	3%	△ 67	0	+ 67	-
北米: \$ mil. 欧州: EUR mil.	1,209 45	1,244 50	+ 35 + 5	3% 11%	Δ 67 Δ 4	0 \$\triangle 5	+ 67 △ 1	- 25%
北米: \$ mil. 欧州: EUR mil. 中国: CNY mil.	1,209 45 427	1,244 50 576	+ 35 + 5 + 149	3% 11% 35%	△ 67 △ 4 65	0 \$\triangle 5 80	+ 67 Δ 1 + 15	- 25% 23%
北米: \$ mil. 欧州: EUR mil. 中国: CNY mil. タイ: THB mil.	1,209 45 427 1,095	1,244 50 576 1,885	+ 35 + 5 + 149 + 790	3% 11% 35% 72%	△ 67 △ 4 65 78	0 △ 5 80 77	+ 67 Δ1 + 15 Δ1	- 25% 23% -1%
北米: \$ mil. 欧州: EUR mil. 中国: CNY mil.	1,209 45 427	1,244 50 576	+ 35 + 5 + 149	3% 11% 35%	△ 67 △ 4 65	0 \$\triangle 5 80	+ 67 Δ 1 + 15	- 25% 23%
北米: \$ mil. 欧州: EUR mil. 中国: CNY mil. タイ: THB mil. インドネシア: IDR bil. く為替レート>	1,209 45 427 1,095 1,520 12/3月期	1,244 50 576 1,885 1,756	+ 35 + 5 + 149 + 790 + 236	3% 11% 35% 72% 16%	△ 67 △ 4 65 78 268	0 △5 80 77 289	+ 67 △ 1 + 15 △ 1 + 21 変化率	- 25% 23% -1%
北米: \$ mil. 欧州: EUR mil. 中国: CNY mil. タイ: THB mil. インドネシア: IDR bil. <為替レート> USD	1,209 45 427 1,095 1,520 12/3月期 79.6	1,244 50 576 1,885 1,756 13/3月期 80.0	+ 35 + 5 + 149 + 790 + 236 変化率 0%	3% 11% 35% 72% 16%	△ 67 △ 4 65 78 268 12/3月期 12.4	0 △5 80 77 289 13/3月期 12.5	+ 67 △ 1 + 15 △ 1 + 21 変化率 1%	- 25% 23% -1%
北米: \$ mil. 欧州: EUR mil. 中国: CNY mil. タイ: THB mil. インドネシア: IDR bil. く為替レート>	1,209 45 427 1,095 1,520 12/3月期	1,244 50 576 1,885 1,756	+ 35 + 5 + 149 + 790 + 236	3% 11% 35% 72% 16%	△ 67 △ 4 65 78 268	0 △5 80 77 289	+ 67 △ 1 + 15 △ 1 + 21 変化率	- 25% 23% -1%

2013年3月期見込み:売上高 [お客様別]

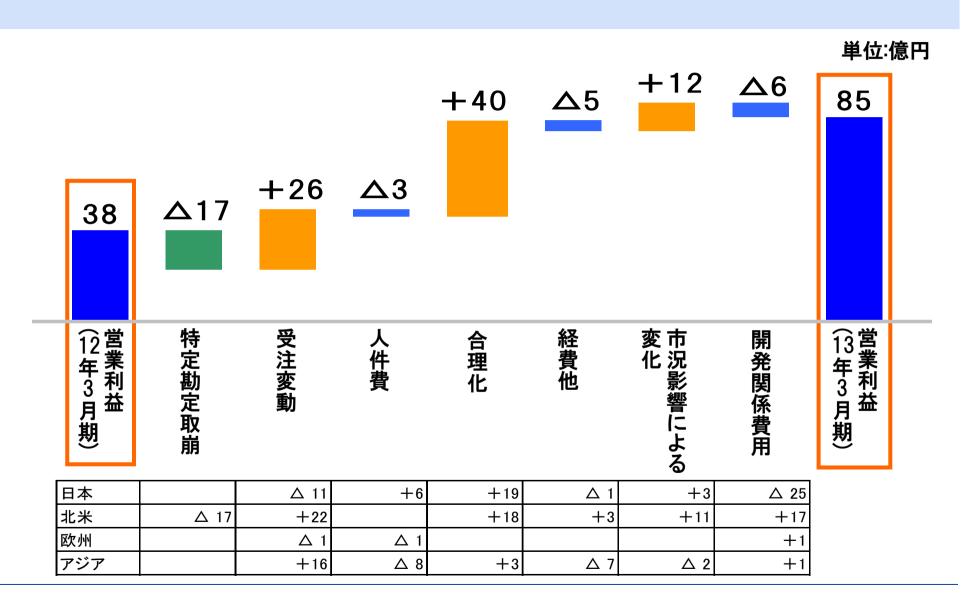
<2013年3月期見込み>



	12年3月期	13年3月期
GM	22%	23%
日産系	15%	14%
トヨタ系	11%	13%
ホンダ系	5%	8%
いすゞ	5%	6%
ヤマハ	4%	5%
Chrysler	5%	5%
Ford	8%	4%
産機/鉄道	5%	4%
三菱自系	5%	4%
その他	15%	14%
合計	100%	100%



2013年3月期見込み:営業利益増減分析(対前年差)



2013年3月期見込み:営業利益から純利益まで

前年同期			当期		単位:億円
<u> </u>	<u>主な</u>	<u> 勘定</u>	<u>=771</u>	<u>主な勘</u>	<u>)定</u>
営業利益	38		営業利益	85	
営業外収支△17	支払利息	Δ 13	営業外収支△15		
経常利益	21		経常利益	70	
特別損益 △18	固定資産減損損および売廃却損		特別損益 △5		
税前利益	3		税前利益	65	
	法人税等 少数株主利益	△ 23 △ 12		法人税等 少数株主利益	△ 20 △ 15
当期純利益	△32		当期純利益	30	

2013年3月期見込み:研究開発費、設備投資及び償却費

単位:億円

単位:億円

研究開発費

	11年3月期	12年3月期	13年3月期
	実績	実績	計画
研究開発費	89	92	90

※製品の適用開発に関連する費用も含めております。

設備投資•償却費

	11年3月期 実績	12年3月期 実績	13年3月期 計画
設備投資	51	143	200
(内震災関連)	-	(38)	(7)
償却費	98	98	93

※1...FNC(軟窒化表面処理技術)

13年3月期 主要開発案件

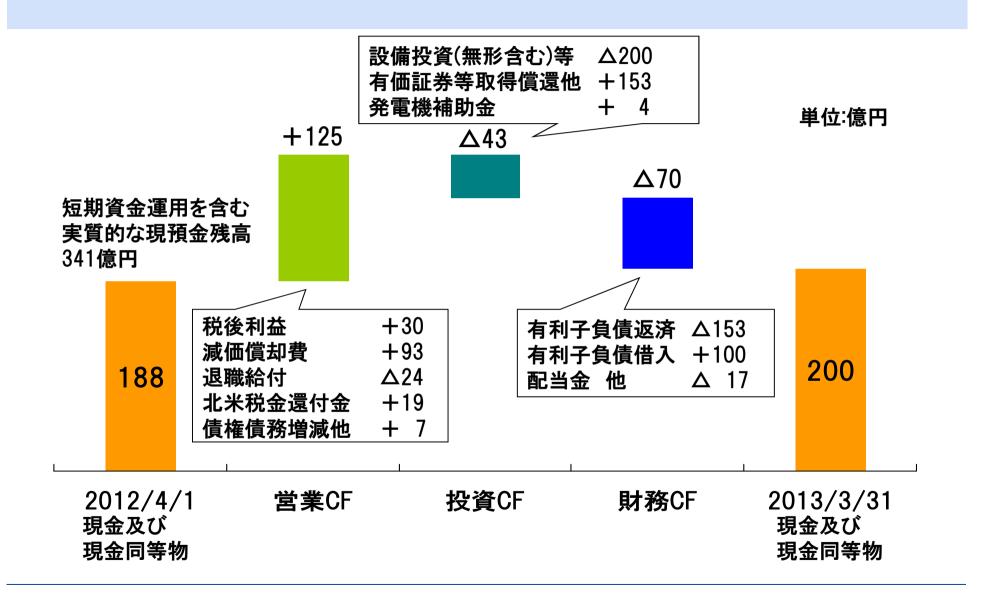
- ・電動ブレーキ開発
- ・HP/HE用ブレーキ開発
- •環境対応型摩擦材開発
- ・3点セット(モジュール)開発
- •FNCロータ開発 ※1
- ・低コストキャリパー・ドラム

13年3月期 主要設備投資案件

- •次世代•新工法設備
- •グローバル研修センター
- •FNC設備 ※1
- ・次期モデル対応
- ・海外生産拠点立上げ (ベトナム・メキシコ)



2013年3月期見込み:キャッシュ・フロー







北米事業の現状と2012年度見通し

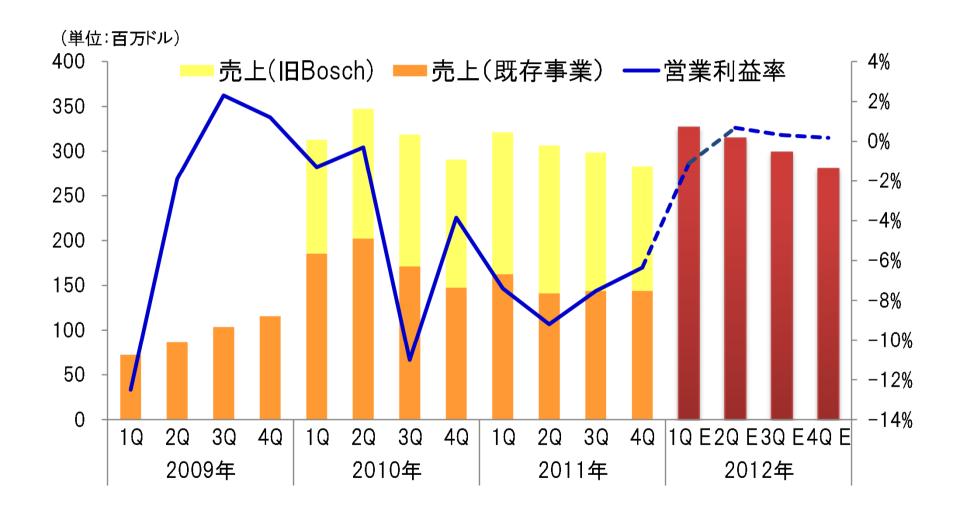
北米事業 2012年度業績見通し

(単位:百万ドル)

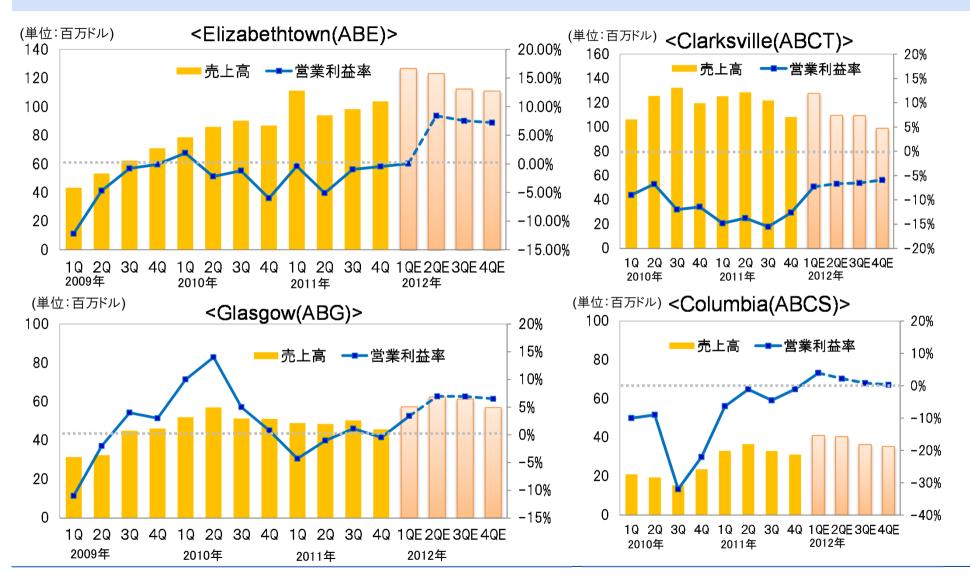
	2011年度 実績	2012年度 見通し	差額	%
売上高	1,209	1,244	+35	+2.9%
売上総利益	△13	77	+90	
営業利益	△67 (1)	0	+67	

(1) 特定勘定取り崩し後

北米事業の売上高と営業利益率の推移

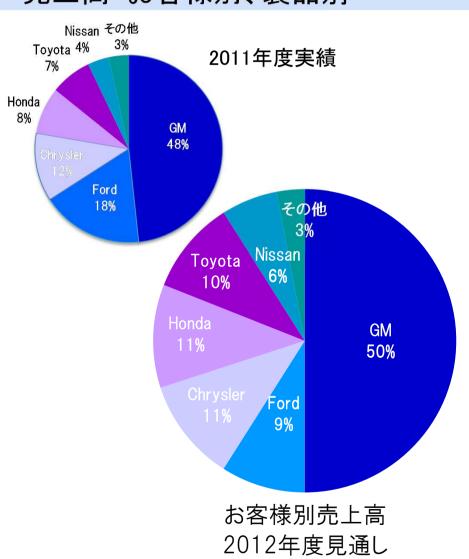


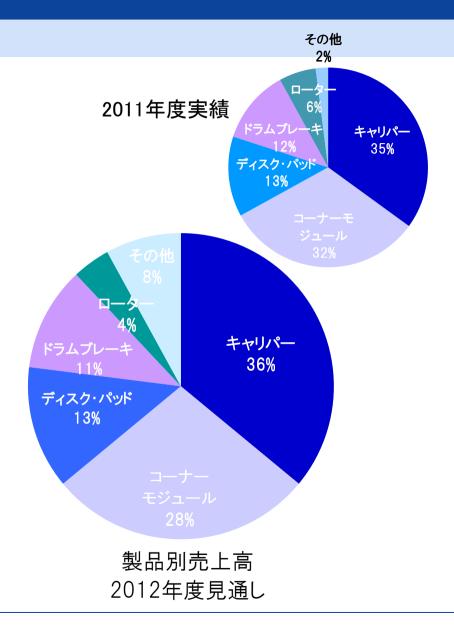
北米の拠点別売上高および営業利益率の推移



2012年度北米事業 事業計画

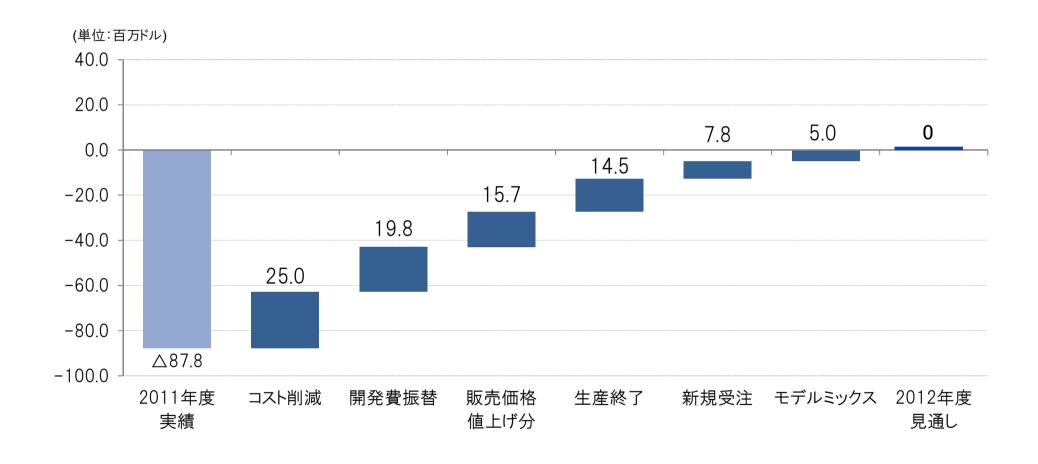
売上高<お客様別、製品別>





2012年度北米事業見通し

営業利益



2012年 主な施策の進捗状況

- 1. 鋳物調達の最適化
 - 業界再編・総供給量の増加(Waupaca社の売却、休眠鋳物工場の再開)
 - 輸送コストの削減(曙工場により近いEtowah工場での生産に切り替え)
 - Waupacaとの関係強化
- 2. ロジスティクス: 総物流費 \$69M→\$10Mの削減目標
 - 現状把握および輸送ルート分析を実施(8月末までに施策展開開始)
 - 工場外部倉庫の廃止に着手
- 3. 外注部品の削減
 - 日供品の現調化推進・外注品の内製への切り替え手続き開始
- 4. 固定費削減
 - 間接部門の組織人員の適正化
 - 旅費・通信費・外部委託の抜本的見直し
- 5. 組織改定と人事
 - 組織のフラット化・拠点のCEO直接レポート ⇒ 実行済み
 - 優秀な米人の登用·管理部門の強化 ⇒ 実行済み
- 6. メキシコ進出
 - 主要客先のメキシコでの増産、新規進出に対応、13年の生産立ち上げを予定。現在30%あるメキシコでのシェア増加を固める。



GOAL:

2015年に売上高3,000億円 ディスクパッドシェア 30%[Global30] を目指す

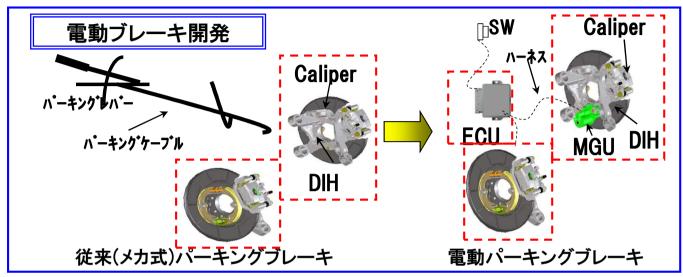
ローリングプラン2012:Global30に向けた基盤づくり

① 将来に向けた技術の差別化

3本柱

- 達成に向けた ② 革命的な原価低減に向けた努力の継続と海外への展開
 - ③ 日米中心から日米欧アジアへのグローバル化の加速

達成に向けた取り組み(技術の差別化)















達成に向けた取り組み (地域別)

日本

- 次世代設備導入 労働生産性大幅向上→自働化 環境対応型設備 1個つくり
- · 生産全体再編
- グローバル人財育成のため の研修センター

北米

- メキシコ含めた拠点見直し (ABE) メカエ場化 (ABG) 摩擦材工場化 (ABCS) アルミセンター化 (ABCT) モジュール工場化
- 新規受注の拡充 摩擦材製品、3点セット
- 調達合理化促進 サプライヤー数見直し 鋳物調達政策再構築
- ロジスティクス改革

欧州

- メカ生産体制の検討グローバルプラットフォーム受注
- メカ開発体制の検討グローバルプラットフォーム受注 HP/HE対応強化
- ・ 摩擦材生産能力増強

アジア

- ベトナム生産開始 2012年7月SOP
- ・ 既存地域での生産能力増強

共通

・ グローバルプラットフォーム受注 日系、米系のプログラム受注済み CFT組織で各拠点をまたいだ活動開始



グローバル体制強化

中期目標 ローリングプラン2012

達成に向けた取り組み(地域別)

新興国進出

・メキシコ

進出決定済み。

2013年6月稼動に向け準備を開始。

ドラムブレーキの組立てを皮切りに北米、日本から順次移管。

以降D3、日系の新規受注予定。

2015年時点での売上予測は\$75M。

・インド

・その他地域

進出の検討開始。

継続して検討をおこなう。

欧州事業強化

・メカエ場新設検討

東欧含め欧州でのメカ生産検討開始。

グローバルプラットフォーム対応

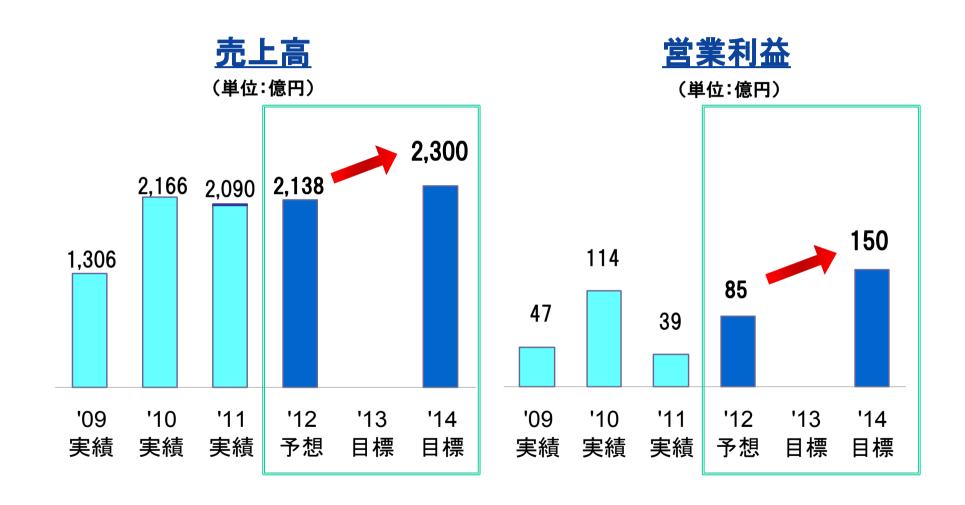
· CFT(クロスファンクショナルチーム)

(責任者) プログラム毎のグローバルリーダー

(メンバー) 各地域の機能毎に選定

(機能) 進捗管理、原価管理、トップマネージメントへの報告

Global30達成に向けた基盤づくり



売上見通し

ローリングプラン2011

	2011 目標	2012 目標	2013 目標
売上高	2,080	2,200	2,300
日本	935	970	1,000
北米	980	1,030	1,050
欧州	50	58	60
アジア	208	250	300
消去	△93	△108	△110

現時点の予想

(単位:億円)

2011 実績	2012 予想	2014 目標
2,096	2,138	2,300
962	922	1,000
963	995	1,000
50	52	50
221	280	370
△99	△111	△120

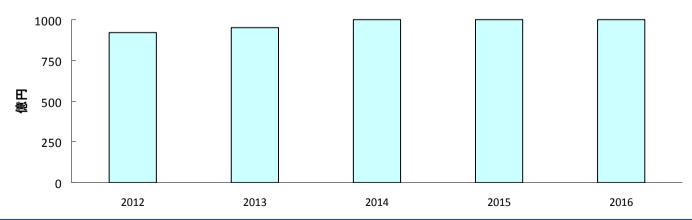


日本長期ビジョン

グローバル本社機能を強化し以下の施策を実行

- 1. 工場再編による競争力強化
 - 日本国内の需要に見合った生産能力最適化、リスク分散を考慮した再編検討、国内シェア拡大
- 2. 技術の発信基地 (次世代設備による競争力強化)
- 3. ABPGの充実による総合評価センター化
- 4. グローバル人財育成 研修センターでの教育
- 5. グローバル本社としての機能見直し 日米欧亜の扇の要として、最適な組織つくり

日本での長期目標



北米長期ビジョン

黒字化定着化を狙い以下の施策を実行

1. 工場再編による競争力強化

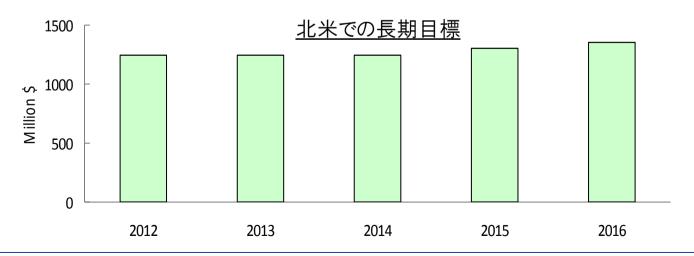
ABCS工場のアルミセンター化、ABCT工場のキャリパ、ロータ含めたモジュール工場化 ABEメカ工場化、ABG摩擦材工場化、メキシコ工場活用

2. 調達合理化

サプライヤー数見直し、鋳物調達政策再構築

- 3. FNC技術を活用したロータ製品戦略 今後のロータはFNC処理が主流になり、将来的にロータ以外の部品にも適用
- 4. ロータ、コーナーモジュールを新規商品としてNVH技術と絡めた売り込み
- 5. グローバルプラットフォーム(GPF)

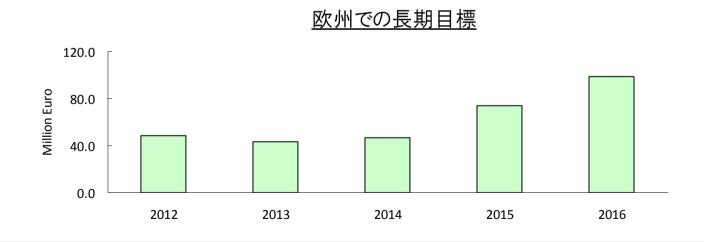
日米欧アジアの連携を強化して、グローバルプラットフォームに対応



欧州長期ビジョン

ハイパフォーマンス(HP)キャリパを皮切りに以下の施策を実行

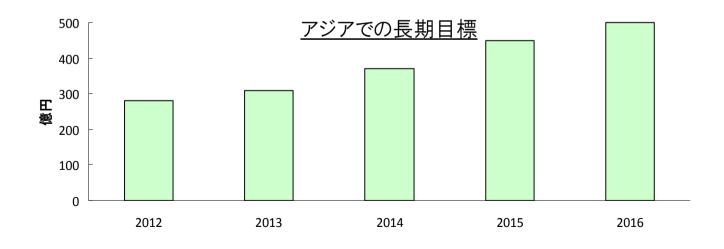
- 1. HP、HEキャリパ拡販 McLaren MP4-12C GT3受注からPorsche、VWグループへの拡販活動
- 2. グローバルプラットフォーム(GPF) 日本、北米、アジアと共同でGPFの受注を目指し、東欧含めた欧州域内での生産を検討
- 3. 摩擦材拡販 現有工場の生産性向上および設備増強による供給量増加、受注拡大
- 4. 開発体制強化 上記に呼応した開発体制強化(特にメカ)をおこなう



アジア長期ビジョン

市場の拡大とともに確実に伸ばしていくため以下の施策を実行

- 1. アセアン統括機能の確立 タイを中心にインドネシア、ベトナム、日本本社の連携強化
- 2. グローバルプラットフォーム(GPF) アジア向け生産の確実な立上げと、欧州域内での生産までの生産支援
- 3. 現地調達化推進 ローカルメーカー発掘、中国での活動を横展開
- 4. インド進出検討 市場の拡大から進出を検討



長期成長戦略

長期的にはいかなるオプションも排除せず更なる成長を目指す

1. 国内外のパートナー会社との協業促進

現有パートナーとの協業により、リソースの適正化および短期的に不足地域をカバーする。

2. 産業機械・鉄道分野での成長

フォークビジネスの中国への参入や海外向け鉄道ブレーキの拡販。日本国内では私鉄向けの販売強化。

3. 新規事業分野での成長

センサー事業からの技術を応用したビジネス拡大。

4. 企業買収による成長

水平統合、垂直統合、多角的に検討を進める。

5. 地域別政策

- (1)日本 グローバル本社として位置づけ確認(技術、管理、教育)。 日本国内ビジネスを拡大し雇用確保。
- (2)北米 黒字化に向け順調に推移、定着化を目指す。3点セット技術を生かした摩擦材の受注拡大。 メキシコ立上げから中米、南米への足がかり。
- (3)欧州 生産体制、開発体制、組織を再構築。HP/HEの拡販とGPFでの乗用車ブレーキ(メカ)への参入。
- (4)アジア タイ 摩擦材増産、GPFなどの立上げにより早期拡大。現地調達化促進。

中国 GPF立上げ、黒字定着に向けローカルマネージメント化推進。現地調達化促進。

インドネシア 市場拡大とともに成長。ベトナム支援、拡大。現地調達化促進。

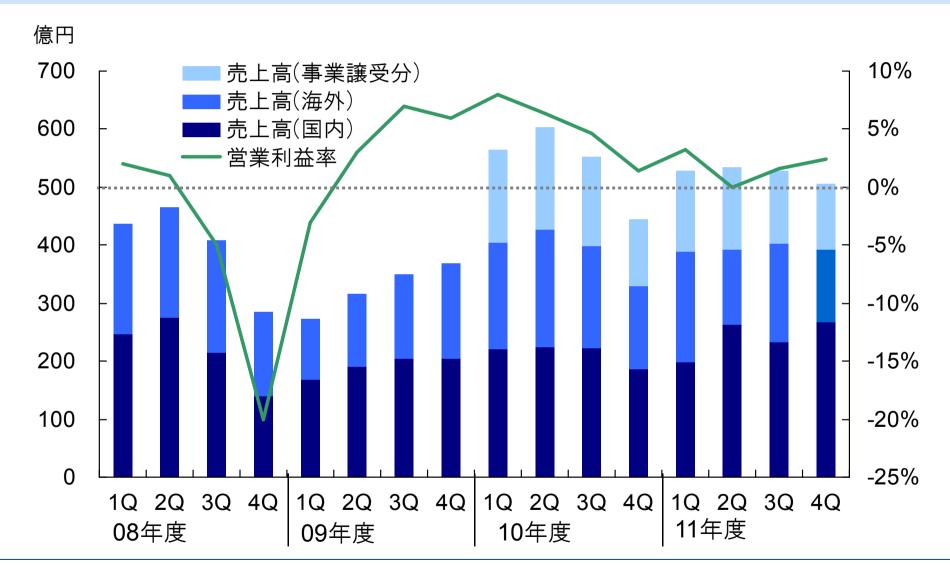
インド進出検討。



添付資料

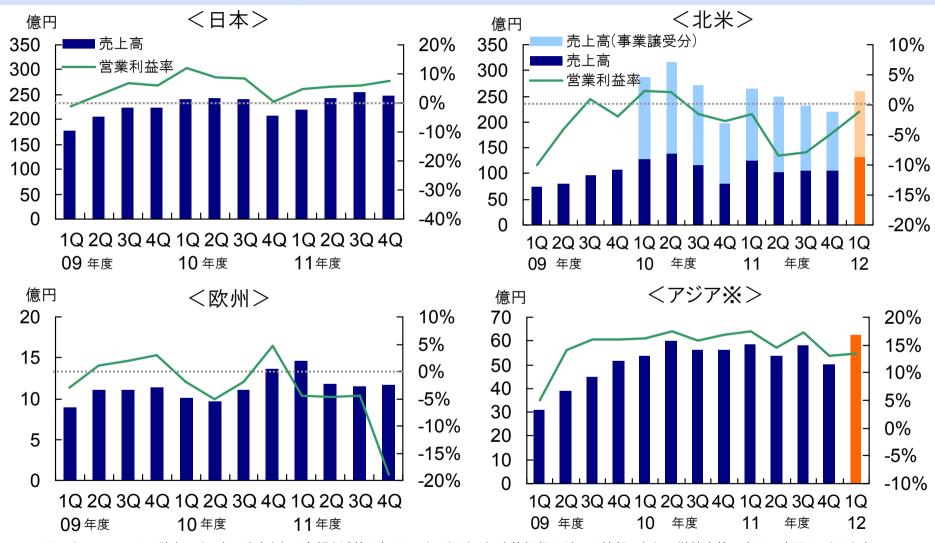
(参考1)売上高と営業利益率のトレンド(連結)

四半期毎の売上高と営業利益率



(参考2)売上高と営業利益率のトレンド(地域別)

四半期毎の売上高と営業利益率

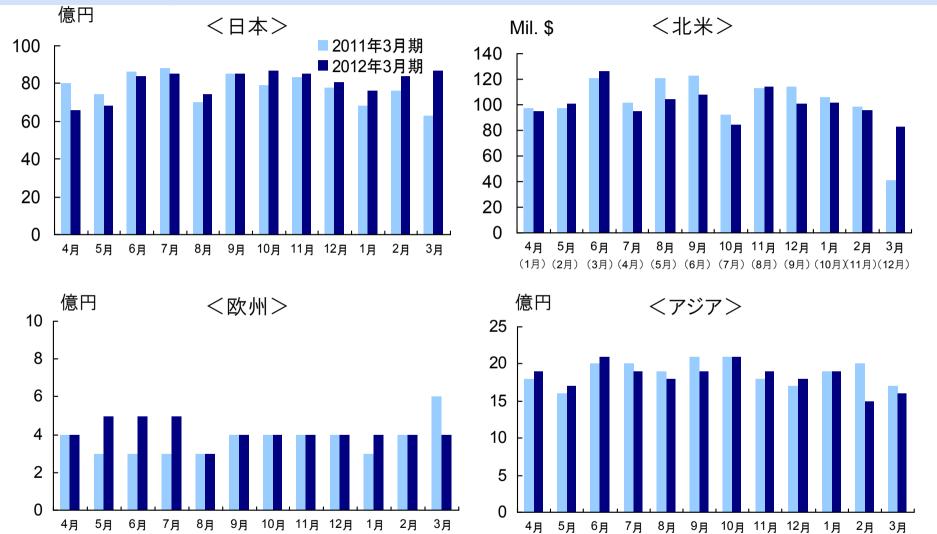


※アジアについては、従来アジア内で消去される金額を減算し表示しておりましたが、決算短信セグメント情報にあわせ単純合算の表示に変更しております。



(参考3)売上高のトレンド(地域別)

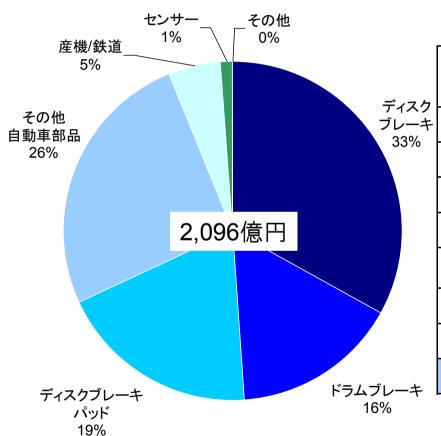
月次売上高推移



(1月)(2月)(3月)(4月)(5月)(6月)(7月)(8月)(9月)(10月)(11月)(12月)

(参考4)製品別 売上高

<2012年3月期実績>



	-		_
	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期
ディスクブレーキ	35%	33%	34%
ドラムブレーキ	15%	16%	16%
ディスクブレーキパッド	18%	19%	19%
その他自動車部品	27%	26%	26%
産機/鉄道	4%	5%	4%
センサー	1%	1%	1%
その他	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%

実績

実績

見込み

(参考5)2013年3月期見込み:地域別の状況(半期別)

単位:億円

	売上高		
13/3月期	上期	下期	通期
日本	475	447	922
北米	520	475	995
欧州	27	25	52
中国	31	41	72
タイ	23	26	49
<u>インドネシア</u>	75	83	158
アジア	129	150	279
連結消去	△ 54	△ 56	<u> </u>
Total	1,097	1,041	2,138

営業利益			
上期	下期	通期	
30	20	50	
Δ1	1	0	
<u>\</u>	△ 3	<u> </u>	
3	7	10	
0	2	2	
12	14	26	
15	23	26 38	
1	1	2	
43	42	85	

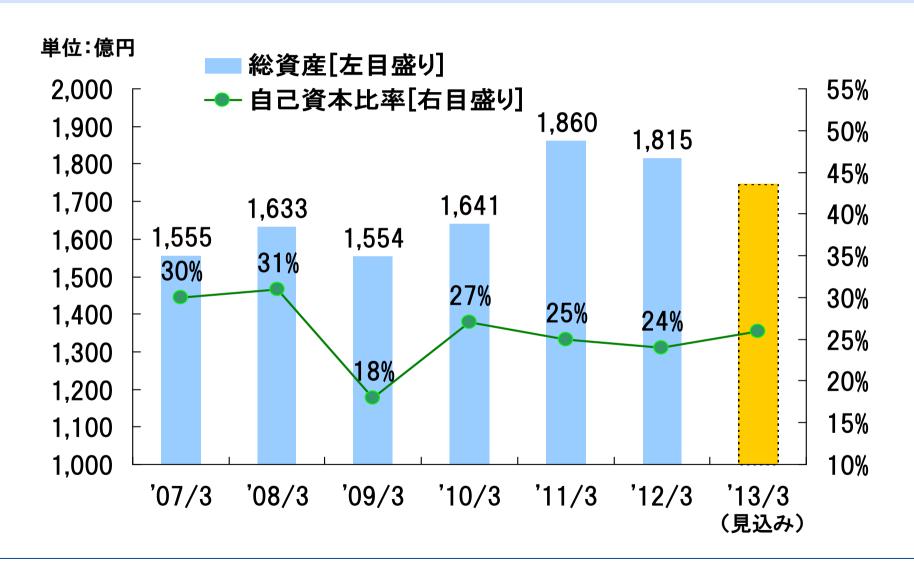
<現地通貨ベース>	<u>上期</u>	<u>下期</u>	<u>通期</u>
北米: \$ mil.	650	594	1,244
欧州: EUR mil.	26	24	50
中国: CNY mil.	248	328	576
タイ: THB mil.	885	1,000	1,885
インドネシア: IDR bil.	833	922	1,756
<為替レート>			
USD	80.0	CNY	12.5
EUR	105.0	THB	2.6

<u>上期</u>	<u>下期</u>	<u>通期</u>
Δ1	1	0
A 2	△ 3	△ 5
24	56	80
0	77	77
133	156	289

0.0090

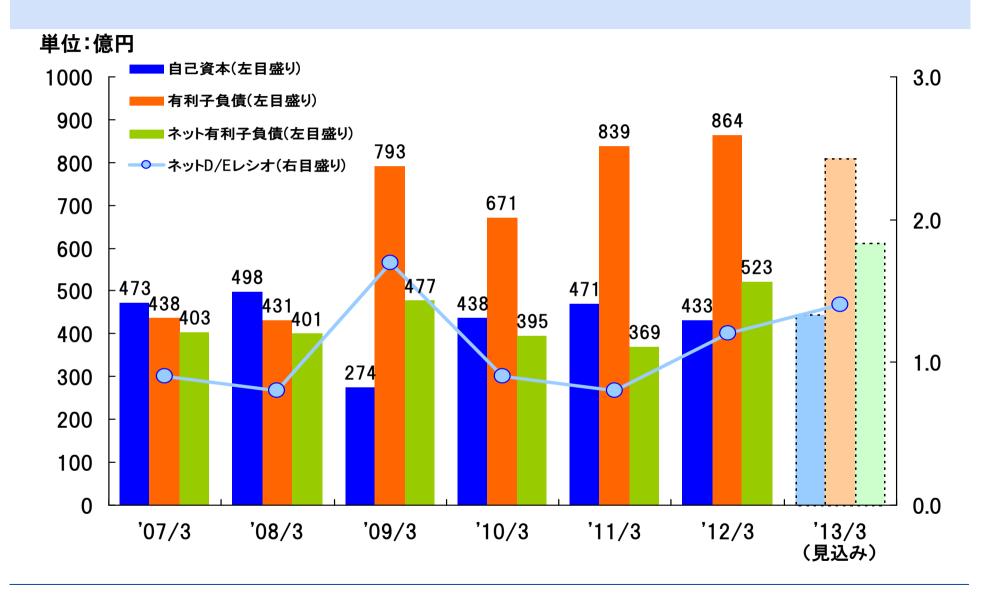
IDR

(参考6)総資産/自己資本比率





(参考7) 自己資本/有利子負債の推移



業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいた予測であり、実際の業績は当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因によりこれらの記述とは大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。